

1 単元名 Lesson 6 Ogasawara—A Laboratory of Evolution  
Power On Communication English I (東京書籍)

2 目標

- 間違うことを恐れず、積極的に情報や考えなどについて相手に伝えようとする。  
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度(言語活動への取組))
- 説明文の内容を踏まえて、その解決策について自分の考えをまとめ、聞き手に分かりやすく話す。  
(外国語表現の能力(適切な筆記)(適切な発話))
- 小笠原諸島の地理や生態系についての説明文を読んで、概要や要点を理解する。  
(外国語理解の能力(適切な読み取り))
- 推論表現(maybe等)、助動詞+受け身及び「It is 形容詞 for 人 to 動詞原形」構文の知識を身に付ける。  
(言語や文化についての知識・理解(言語についての知識))

3 単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
間違うことを恐れず、積極的に情報や考えなどについて相手に伝えようとしている。	小笠原諸島の環境保護策について、自分の考えを簡単な英語でまとめ、聞き手に分かりやすく話すことができる。	小笠原諸島の地理や生態系についての説明文を読んで、概要や要点を理解することができる。	推論表現(maybe等)、助動詞+受け身及び「it is 形容詞 for 人 to 動詞原形」構文の知識を身に付けている。

4 単元について

(1) 教材観

本単元は、小笠原諸島が保有する特殊な生態系(特に動物)を紹介し、そのどれもが絶滅危惧種であるということに焦点を置き、環境保護の重要性、種の保存の重要性を唱えている。本題材を通し、さらに絶滅危惧種の動植物を調査し、なぜ今、危機に直面しているのか、なぜそうなってしまったのかその原因に関して独自に調査することで、環境問題に関しての生徒の興味・関心をさらに深めることができる内容である。

(2) 生徒の実態

本校の英語科では、全学年で習熟度別少人数授業を実施している。

1年\*組は音楽コースであり、全員がマーチングバンド部に所属しており、勉学・部活動共に積極的な態度で臨むクラスである。担当している\*名は、習熟度が高く、全員が大学進学を希望している。英語に関しては、基本的な文法・語彙に関してはよく理解し、知識を身に付けている。英語学習に対しての意欲が高く、特に、音読、書くことについて積極的に取り組む姿勢がみられる。

## 5 指導計画と評価計画（5時間扱い）e

時	学習内容・活動	関	表	理	知	主な評価規準〔評価方法〕
1	○単元の導入 ○Part 1の本文理解 ・内容に関して相互質問し、内容を 確認する。				○	・小笠原諸島の地理や生態系についての説明文 を読んで、概要や要点を理解することができ る。（適切な読み取り）〔ワークシート〕
2	○Part 2の本文理解 ○文法理解 ・T or Fテスト ・推論表現の確認				○	・推論表現の知識を身に付けている。 （言語についての知識）〔筆記テスト（後日）〕
3	○Part 3の本文理解 ○文法・新出語彙理解 ・虫食いテスト ・簡単な英語で本文内容をリテリ ング				○	・It is 形 for 人 to V構文の知識を身に付け ている。（言語についての知識） 〔筆記テスト（後日）〕
4	○プレゼンテーションのための 調査・準備 ・グループごとで調査・原稿作成 ・グループ内で推敲，文章構成 ・グループ内で発表練習		○			・小笠原諸島の環境保護に対する解決策につい て、自分の考えを簡単な英語でまとめること ができる。（適切な筆記） 〔ワークシート（第5時に提出）〕
5 本 時	○プレゼンテーション ・グループごとに調査したこと、 まとめた考え等を発表する。 ・発表を聞き、質疑応答（英問英 答）を行う。 ・相互評価を行う。 ・自己評価を行う。	○	○			・小笠原諸島の環境保護に対する解決策を、聞 き手に分かりやすく伝えることができる。 （適切な発話）〔発表〕 ・間違ふことを恐れず、積極的に情報や考え等 について相手に伝えようとしている。 （言語活動への取組）〔活動の観察〕

## 6 本時の展開

### (1) 本時の目標

- 小笠原諸島の環境保護に対する解決策を、聞き手に分かりやすく話す。  
(外国語表現の能力(適切な発話))
- 間違ふことを恐れず、積極的に情報や考えなどについて相手に伝えようとする。  
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度(言語活動への取組))

### (2) 準備するもの

音読用ワークシート，自作補助教材（パワーポイント），ホワイトボード，ワークシート（評価シート含），  
プロジェクター

	指導内容	学習活動	学習形態	時間 (分)	指導上の留意点
導 入	①Warm-up	・small talkをする。	全 体	10分	・大きな声で答えるように促す。
	②今日の活動確認	・授業の流れを確認する。	全 体		・正しい発音ができるように支援 する。
	③本文の音読	・虫食い音読ワークシートで 練習する。 ・ペアで確認する。 ・プロジェクターで提示され た虫食い音読シートを音読	個 人 ペ ア 全 体		・大きな声で音読するよう促す。 ・ヒントを英語で教えるように伝 える。 ・なるべく顔を上げて音読するよ うに伝える。

		する。			
展 開	④プレゼンテーションの方法と評価方法についての説明 ⑤練習 ⑥発表, 質疑応答, 相互評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーションの方法と評価方法を理解する。</li> <li>・教師のプレゼンを実際に見て質疑応答をする。</li> <li>・評価項目を意識した練習を行う。</li> <li>・発表→質疑応答(英問英答)→相互評価(3人×3グループ)</li> </ul>	全 体  グループ 全 体	35分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価のポイントを明確に示す。</li> <li>・簡単な英語でいいので積極的に質問するように促す。</li> <li>・発表者は声量・姿勢・表情等を意識するように伝える。</li> <li>・聞く側には, 評価項目を意識して聞くことと, 質問を積極的にするように伝える。</li> </ul>
ま と め	⑦本時のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の授業を振り返り, 自己評価シートに記入する。</li> <li>・分からなかった点等をコメント欄に記入する。</li> </ul>	個 人	5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の目標に沿った自己評価シートに評価させる。</li> <li>・必要があればコメント欄に質問等の記入をさせる。</li> </ul>
評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンワークシート, 自己評価シート, プレゼン評価シートを回収し, 評価する。(外国語表現の能力)</li> <li>・発表の様子を評価する。(外国語表現の能力)(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)</li> </ul>				